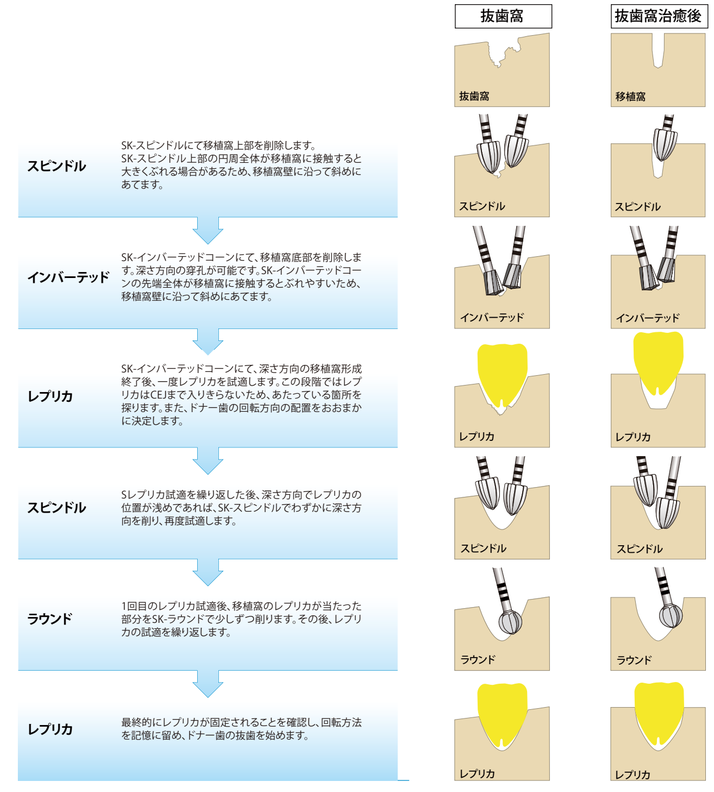
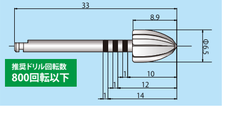
【アルベオ・シェーバー（SK-スピンドル、SK-インバーテッドコーン、SK-ラウンド）の使用方法】



【アルベオ・シェーバー（SK-スピンドル、SK-インバーテッドコーン、SK-ラウンド）寸法】

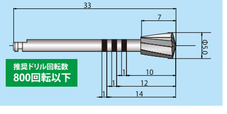
SK-スピンドル

移植窩の上部1/2の形成をするために適したバーです。



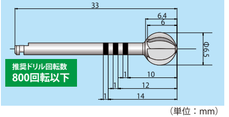
SK-インバーテッドコーン

移植窩の下部1/2の形成をするために適したバーです。



SK-ラウンド

歯牙移植レプリカとの誤差をピンポイントで切削するために適したバーです。



（単位：mm）

No.	商品コード	商　品　名	標準価格（税別）
1	440851	アルベオ・シェーバー（SK-スピンドル）	12,000円
2	440868	アルベオ・シェーバー（SK-インバーテッドコーン）	12,000円
3	440875	アルベオ・シェーバー（SK-ラウンド）	12,000円



移植窩形成用バー
『アルベオ・シェーバーSKシリーズ』

移植窩形成にあたっては、まずお手持ちの骨形成用バーやラウンドバーにて、直径Φ3.5mm、長さはドナー歯の根長程度の下孔を形成した後、SK-スピンドルからお使いください。
アルベオ・シェーバーはその名の通り、剃る、薄く切る（Shave）を、フェザータッチ感覚で使用するバーです。

移植窩形成用バー『アルベオ・シェーバーSK-シリーズ』は用途に合わせて、3種をご用意しています。共通する特長は以下の通りです。

- ●骨の切削効率の良い8枚刃
- ●臼歯部にも使用しやすい全長33mm
- ●推奨ドリル回転数は800rpm以下

※アルベオ・シェーバーは切削効率維持のため、５～７回程度ご使用後の交換をお勧めしています。

販売名：アルベオ・シェーバー
一般的名称：整形外科用バー
届出番号：15B1X10002000041
製造販売業者：プロスパー株式会社　TEL 0257-24-5277
販売業者：ケンテック株式会社　TEL 03-5155-2596

※仕様および外観は製品改良等のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。　価格は2026年8月現在の税別価格です。
無断転載禁止

ユニット・歯科材料・滅菌器などのお問い合わせは

株式会社ヨシダ コンタクトセンター

0800-170-5541

※対応時間 ／ 月～金 9:00～17:30　土 9:00～17:00
（日曜・祝祭日を除く）

●取扱店

(01)02747937021583
C02588/2026年8月/@60/改

YOSHIDA
HEALTH & HAPPINESS

歯牙移植レプリカ
歯牙移植ガイド
アルベオ・シェーバー

TOOTH TRANSPLANT
歯牙移植治療のご案内

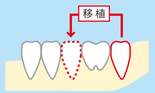
歯牙移植の効率↑の良い方法をご存知ですか？

従来の歯牙移植はドナー歯を抜歯した後、レシピエントサイトに移植窩を形成し、ドナー歯を固定するという方法です。
この場合、移植窩形成はドナー歯抜歯後約18分以内で行わなければならず、フィットする移植窩を形成する為には時間との戦いで、高度な技術や経験を必要とします。

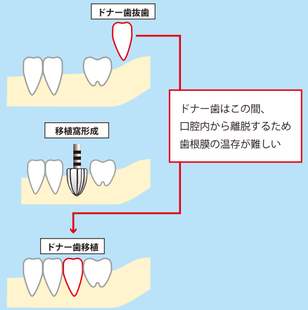
移植窩形成用バー『アルベオ・シェーバー』、『歯牙移植レプリカ』はその問題を解決します！

CTのDICOMデータからドナー歯のレプリカ（歯牙移植レプリカ）を製作します。
その際にシミュレーションソフトウェアでドナー歯を抽出、レピシエントサイトへ配置します。
これにより、ドナー歯の大きさとレピシエントサイトの骨の状態や骨幅等が理解可能となり、適応症かどうかの判断ができます。
アルベオ・シェーバーで移植窩を形成し、移植窩にレプリカを何度か試適した後、ドナー歯の抜歯を行い移植します。それによりドナー歯を抜歯直後に移植できること、またドナー歯試適による歯根膜損傷がないことから、歯牙移植が効率良く行えます。

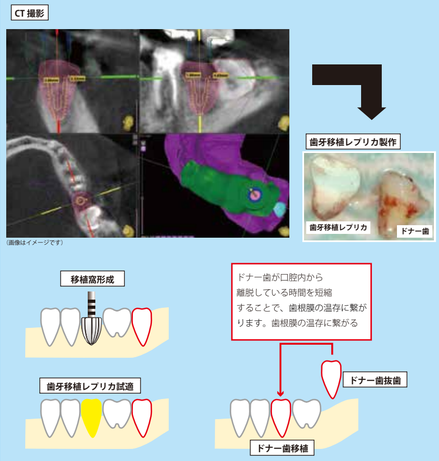
[現在の状態]



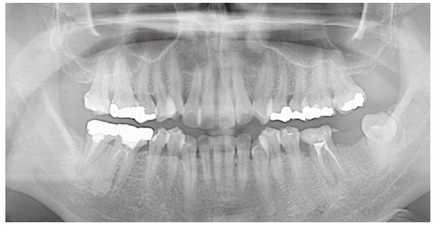
[従来の歯牙移植の方法]



[歯牙移植レプリカを使用した方法]



【歯牙移植レプリカを用いた移植症例】



患者：40代　女性　　主訴：「7欠損に関する相談
【パノラマX線所見】
「8の遠心傾斜半埋伏を認め、「8→「7への移植手術を行うこととした。



【デンタルX線所見】
「8への矯正力付加時、「8遠心の骨と歯槽骨に間隔を認める。

【手術直前の口腔内写真】
①②「8埋伏歯にセットしたアタッチメントが口腔内に確認できる。





【手術中の口腔内写真】



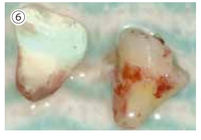
歯牙移植ガイドをセットした様子。



ガイド越しにガイドドリル（直径3.8mm）を用いて、最下点までの下孔を開けていく。



アルベオ・シェーバーSK-スピンドルを用いて、シミュレーション時にイメージした移植窩形成を始めるが、頬舌幅が狭いので注意する。
その後、SK-インバーテッドコーン、SK-ラウンドドを用い、レプリカがセットできるまで移植窩形成を行う。

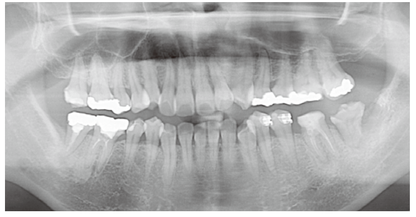


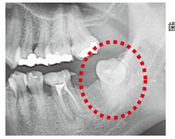
（左）歯牙移植レプリカ
（右）抜歯した「7
CEJをイメージし、歯牙移植レプリカを移植窩に何度か試適し、ある程度固定される事を確認する。
その後、ドナー歯を抜歯し、移植窩に固定する。



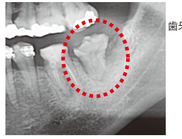
レシピエントサイトにドナー歯をセットした様子。

【手術直後のパノラマX線所見】
ドナー歯のCEJが骨縁下にセットされている。

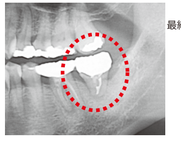




歯牙移植前

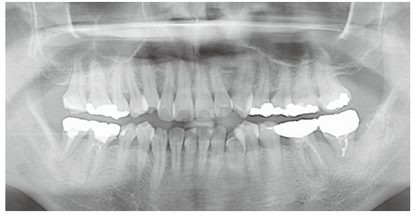


歯牙移植直後



最終補綴物セット後

【最終補綴物セット時】
最終補綴物をセットした様子







【歯牙移植時のシミュレーションに関して】



※すべての症例において移植ガイドが必要というわけではありません。
安全性が高いと思われた時は下孔も必要がないと考えます。

ただし、本症例のように右下8→右下7への移植の場合、ドナー歯を右下8の抜歯窩から遠ざける為、ある程度近心に配置すべきですし、頬舌幅が狭いことがシミュレーションの結果から解っていますので、左記の配置データから頬側に2.3mm、舌側に2mm拡大し、さらには近心に1.8mm、遠心4mm拡大していくというおおまかな計画が立てられます。この感覚が難しい症例に役立ちます。
また、下顎管が近い場合や上顎洞が近い場合など、下孔最下点を形成することに意味があります。

最もシミュレーションの大きな目的は、ドナー歯をレシピエントサイトに配置出来る骨量があるかないかを判断することです。